

# 言語聴覚士として 楽しく働いています！ 私が大切にしていること



南 純子 [みなみ すみこ]  
介護老人保健施設若草園 (奈良県)

## はじめに

言語聴覚士は1997年に国家資格が制定され、いまでは医療・介護・福祉・保健・教育など幅広い領域で活躍しています。

私は、言語聴覚士のほかに、歯科衛生士、介護福祉士の資格ももっています。歯科衛生士学校を卒業後は歯科医院に勤め、その後子育ての時期は専業主婦でした。同居していた義理の祖父母が認知症で寝たがりの生活となったことがきっかけで、少しでも介護のことを知ろうとヘルパー2級をとりました。

小さなデイサービスでパート勤務を始め、働きながら介護福祉士の資格を取得しました。仕事を続けていくうちに嚥下のことをもっと知りたいと思うようになり、下の子どもが中学に入学するのを機に、思い切って言語聴覚士の専門学校に入学しました。なかなか覚えられない専門用語、不慣れなパソコン操作、レポート提出、実習と大変でしたが、学友と先生方のサポートでなんとか卒業し、言語聴覚士になることができました。

私が当施設を就職先に選んだ理由の1つとして、歯科衛生士が2名常勤しており、歯科医院との協力が密であったことがあります。

言語聴覚士として入職して現在9年目を迎え、摂食嚥下機能の低下、構音障害、失語・失行・失認を含む高次脳機能障害、認知機能障害、コミュニケーション障害、口腔環境の悪化とさまざまな問題を抱えたご利用者と日々向き合っています。3つの資格の専門的知識と経験は、老健施設で働くのにとっても役立っています。そんな私の仕事をご紹介します。

## 施設紹介

若草園がある奈良県生駒郡安堵町は、東には金魚の町として有名な大和郡山市、西には法隆寺で有名な斑鳩町があり、田畑の広がる静かな町です。

当施設は入所100床、通所1日定員50名で、短期入所のご利用者も多い超強化型の老健施設です。私が所属しているリハビリ部門は作業療法士5名・理学療法士10名・言語聴覚士3名の計18名います。私は入所と通所リハビリの言語リハビリ、認知症短期集中リハビリ、集団リハビリ、食事評価と介助、口腔機能のリハビリとケアなどを実施しています。

## 食事の大切さと、お口の健康

新規のご利用者には、入所日に必ず最初の食事の際にミールラウンドを実施しています。言語聴覚士を中心としたリハビリ専門職、管理栄養士、看護師、歯科衛生士、介護職が集まり、安全に摂取できる食事形態を決定するために、ご利用者の口腔内の状態、身体機能・認知機能・摂食嚥下機能・姿勢・動作の評価を行い、多職種で話し合っています。

食べることの基本となるのが“口を整えること”だと考えています。歯周病や、噛み合う歯がなければ咀嚼運動に問題が出ます。義歯の装着状態の評価も欠かせません。咀嚼と嚥下のどこかに問題があれば誤嚥性肺炎のリスクが高まります。

入所のご利用者の口腔状態に関しては提携の歯科医師出席のもと、介護職員・歯科衛生士・言語聴覚士・管理栄養士・看護師で月に1回、口腔衛生管理会議を開催しています。また、経口維持加算の対象者に